

輝 ねむろ

We Love Nemuro!

「ここは、美しい自然に囲まれ、安心でおいしい物を食べ、自分のリズムで生活を送ることができる。豊かな場所だと思います。」と、話してくれたのは、昨年移住し、現在海外製品のアンティークショップを営む中島孝介さんです。中島さんは、一昨年に移住した古川さん（ジュエリーデザイナー）の誘いで、観光を目的に根室を訪れた際、自然や食べ物、人の温かさなど根室の環境に衝撃を受け、移住を決意したそうです。

根室に住み「ここでしかできない店を開きたい。」と、倉庫などを探し始め、本年5月に念願のお店をオープンし、「今はまだ完成ではない、これから変化し成長していきたい。」と、意欲を見せます。また、5月に「市の移住アドバイザー」として任命されたことに対し「まだ根室の知らないことがたくさんあります。より住みたいと思える環境づくりのため、この地の可能性を見つけ、どう活かすか考えていきたい。」と、根室に対する思いについて真剣な眼差しで語ってくれました。今後、移住促進事業のキーパーソンとして、古川さんと共に、根室に新しい風を運んでくれることでしょう。

移住者として新たな空気を



商品を手にとりイメージをふくらませる中島さん

profile **中島孝介** さん
guild Nemuro オーナー

1983年6月27日生まれ。2007年明治大学商学部卒業。同年、古い洋書を取り扱うlimArt（リムアート）へ入社。2011年オンラインショップatelier line（アトリエ ライン）を設立。2012年7月根室移住。2013年4月根室市移住交流促進協議会に加入。同年5月guild Nemuro（ギルド ネムロ）をオープン。

図書館からの おくりもの

館長 松永 伊知子
図書館 TEL (23) 5974番



〈企画展〉「アイヌ語地名を歩くー山田秀三の地名研究からー 2013・夏 根室」の開催

アイヌ語地名研究の第一人者・山田秀三氏は、根室の誇る景勝地であり自然の宝庫「春国岱」を、「シユンク・ニタイ」（エゾマツ・林）の意である。巧い当て字をしたものである。」と語っています。

ご存じのように、根室の地名の多くは、アイヌ語に由来します。山田秀三氏は、昭和三十年から四十年代にかけて根室を訪れ、地名調査を行いました。

この度、その貴重な記録成果の企画展が、北海道立アイヌ民族文化研究センターと、根室市教育委員会（主管・歴史と自然の資料館）の共催で、当館を会場に始まりました。

二階集会所にて、地図や写真、ノートなどの資料や、解説パネルを展示し、八月四日(日)まで開催します。

また、関連事業として、七月六日(土)午後二時より、三階視聴覚室において、講演会「根室・千島のアイヌ文化」研究の最前線から」を開きます。根室ゆかりの札幌大学・川上淳教授による「千島の歴史はどこまで明らかにされているかー千島アイヌを中心にー」など、アイヌ研究の第一線に立つ三人の識者による待望の機会です。

なお、企画展会場では、地元の郷土史家として知られる伊藤初太郎氏が遺した貴重な関係資料も紹介しています。

いずれも無料ですので、たくさんの方のご来場をお待ちしています。